

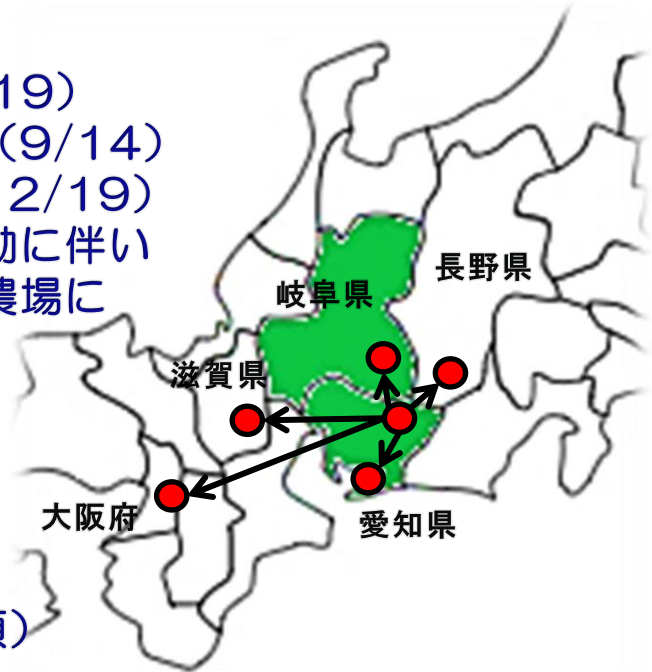
# 豚コレラ・アフリカ豚コレラについて

豚コレラは国内5府県10事例まで続発。アフリカ豚コレラは、ほぼ中国全土に拡大し隣国のモンゴル、ベトナムでも発生しました。

疫学調査では、感染経路推定（イノシシ、豚、交叉汚染等）・農場衛生対策の不備指摘、今後の発生予防・発生拡大防止対策等が示されました。飼養衛生管理基準を遵守し発生予防対策を徹底願います。

## 国内の豚コレラ発生経過

- 岐阜県の養豚農場で発生（9/9～2/19）
- 岐阜県で死亡イノシシ初の陽性事例（9/14）
- 愛知県で捕獲イノシシで陽性事例（12/19）
- 愛知県の養豚農場で発生し、豚の移動に伴い長野県、岐阜県、滋賀県、大阪府の農場に感染拡大（2/6～）
- 愛知県の養豚団地で発生（2/13）



### 2/28現在の発生状況

- 31農場、2施設
- 死亡・捕獲いのしし211頭
- （内訳：岐阜県200頭、愛知県11頭）

## 中国等アフリカ豚コレラ発生状況

21省、3自治区、4市  
128か所（8/3～2/25）

※中国からの旅行者が日本に持ち込んだ肉類からアフリカ豚コレラウイルス遺伝子が次々と検出

モンゴルで発生  
4か所（1/9～1/24）

ベトナムで発生  
4か所（2/1～2/25）



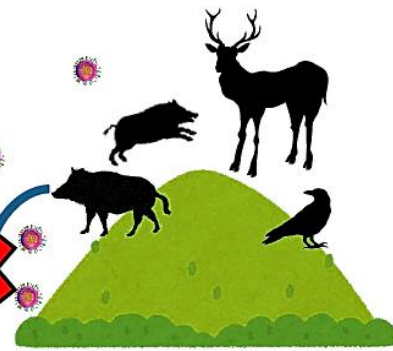
# 予防対策の重要ポイント

農林水産省作成

## 【衛生管理区域】



### 豚舎



### ① 人・物・車両によるウイルスの持込み防止

- ・衛生管理区域、豚舎への出入りの洗浄・消毒の徹底
- ・衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用の徹底
- ・人・物の出入りの記録
- ・飼料に肉を含み、又は含む可能性があるときは、あらかじめ摂氏70度・30分以上又は摂氏80度・3分以上の加熱処理を徹底

### ② 野生動物対策

- ・飼料保管場所等へのねずみ等の野生動物の排せつ物等の混入防止
- ・豚舎周囲の清掃、整理・整頓
- ・死亡家畜の処理までの間、野生動物に荒らされないよう適切に保管

## 豚コレラ疫学調査チームによる検討結果等

### (1) ウイルス感染経路の推定等

- ・ウイルスは海外から肉類として持ち込まれ廃棄、野生イノシシが食べて感染  
→豚へ直接・間接的に感染
- ・感染した豚の移動による感染
- ・豚コレラウイルスに汚染された排せつ物等から直接・間接的に感染(交差汚染)  
(畜産関係施設や畜産関係車両、人・物等の移動による)

### (2) 感染拡大要因の指摘

- ・感染豚をと畜場や他の農場に出荷
- ・衛生管理区域へ入る車両の消毒不十分
- ・豚舎の内外を飼養管理器具が行き来
- ・陽性イノシシ確認地域で、衛生管理区域へのイノシシの侵入、豚舎毎の専用長靴や着衣不備、通路等を消毒せず豚舎間で豚を移動等

### (3) 今後の発生予防対策

- ・毎日の健康観察と早期通報・相談
- ・感染リスクがある地域の農場から豚を出荷する場合の対策の徹底
- ・適切な洗浄・消毒
- ・農場内での豚移動時の対策
- ・野生イノシシの検査

### (4) 発生拡大防止対策

- ・と畜場等の畜産関係施設での交差汚染防止対策強化が必要